



2017年10月31日

各 位

会 社 名 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社
代 表 者 取締役社長 鈴木 篤
(コード番号：8242 東証第1部)
問い合わせ先 広報部長 高橋 正明
(TEL 06-6367-3181)

第2四半期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成29年5月11日に公表いたしました平成30年3月期第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年9月30日）の業績予想と、本日公表の同実績に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成30年3月期第2四半期連結累計期間業績予想数値と実績との差異 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	430,000	6,100	6,000	3,200	25.92
実績値 (B)	432,000	6,978	8,393	5,739	46.49
増減額 (B-A)	2,000	878	2,393	2,539	—
増減率 (%)	0.5	14.4	39.9	79.4	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成29年3月期 第2四半期)	433,539	6,623	5,121	6,552	53.09

2. 業績予想と実績との差異の理由

平成30年3月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、堅調な国内需要に加え、外国人観光客の増加でインバウンド売上も好調に推移した阪急うめだ本店を中心に、百貨店事業がグループ全体を牽引した結果、不採算店舗の閉鎖やイズミヤの建て替え工事の影響があったものの、売上高、営業利益は前回発表予想を上回りました。また、上記理由に加えて、為替予約評価益の計上や受取配当金の増加などにより、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も、前回発表予想を上回りました。

なお、平成30年3月期の通期連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の結果及び足元の業績動向を踏まえて、平成29年5月11日に公表しました通期連結業績予想から、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益をそれぞれ変更しております。詳細につきましては、本日適時開示の当社決算短信をご覧ください。

以 上